

2021年度保育所における自己点検・自己評価

協立こぐま保育園
2022年3月記入

評価について
ABCDの4段階評価です。A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する
評価対象期間
2020年4月1日～2021年2月28日

1.保育理念

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育理念、保育目標を理解し正しく説明することができる。		○			保育方針や保育目標を全職員が目に見えるように掲示等の工夫をしていく。全職員研修で保育理念について学習した。
保育園は園目標や方針が保護者に知らせている。		○			入園時に重要事項説明書にて全員に説明。玄関に掲示している。ホームページにも保育方針を示している。コロナ対策をしながら懇談を開催することができ、対面での説明を行うことが出来た。

2.保育計画

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育計画を作成し、見直しを持った保育を実施している。		○			保育計画を作成している。全職員で理解をし計画を確認し合って保育を進めていけるよう工夫していく。
年間計画、年間行事の見直しをしている。		○			子どもの姿から年間行事は見直しをしている。コロナウイルス感染症対策で大幅な行事の見直しとなった。

3.人権尊重

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	○				子どもたちが自分たちで作る生活を大切にしている。名前を呼び捨てにしない、一人一人の子どもに寄り添う保育をするよう努力している。

4.個人情報保護

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
個人情報の扱いについて入園時等で説明されている。	○				守秘義務の周知徹底は全体職員会議での再確認や個人情報保護に関する誓約書などで伝えている。書類等はカギのかかる場所に保管している。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している。	○				
保護者からの相談の内容の守秘義務について全職員で周知している。	○				

5.保育内容

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
遊びに入れない子どもや、全体の様子に気を配っている。		○			ひとりひとりのやりたい気持ちを大切にし、無理強いしない一方で、子どもの気持ちに寄り添いながら支えていく保育の工夫を心がけている。
子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	○				子どもの意思を尊重し、大人が先走りせず自分たちで考える機会を大切にしている。大人の意見を気にする子もいるので、対応や見守りを工夫している。
遊びを通して、友達や保育士との関りが十分持てるよう配慮されている。		○			遊びの中で子どもたち同士の関係を見守り、自分たちで解決したり、乗り越えていく機会を持てるように配慮している。遊びの中で一緒に楽しむことで保育士との関わりを深めている。

遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている。	○				ケンカの場面では、状況を適切に捉え、双方の思いを聞き伝え合うなど、丁寧に対応している。自分たちの生活を自分たちで作る事を大切に、協力しながら作業をすることで関係性を育んでいけるように見守っている。
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	○				畑は土作りから野菜を育て収穫したり、自然の山や公園での散歩活動を多く取り入れている。山園舎へ遊びに行き羊と触れあったり図書館や電車、スーパーへの買い物へ行くなど地域での活動も大切にしている。
園の行事や保育の内容などが知らされている。	○				掲示板、園便り、日報、クラス便り、ブログ、懇談会を使い日々の活動を伝えている。

6. 保育環境

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
園内外が清潔で心地よい空間となっている。		○			掃除分担をし、日々清潔な環境作りを心がけている。ゴミが落ちていたら拾う、掃くなどの日々の清掃をしていく。玩具の消毒を定期的に行っている。
年齢に応じた保育が提供できるような環境である。		○			年齢ごとの保育室で落ち着いて生活している。可動式壁を利用し、場面に応じた空間を確保できている。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気おもちゃが工夫されている。			○		絵本コーナーは畳を敷いて安心して過ごせるようになっている。おもちゃは使うときに倉庫に取りに行くようにしている。朝夕の保育環境設定を工夫していく。

7. 特別な支援を要する子どもへの対応

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
特別な配慮が必要な場合の対応がなされている。	○				ひとりひとりの子どもに寄り添った保育を行っている。発達状況を職員で検討し指導計画を作成している。専門機関、保護者懇談を行うなどと連携を取りながら、個々にあった保育を行う。

8. 保護者支援

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
意見や要望などへに対応ができています。			○		懇談会や総会など意見を聞く機会を持っているが、欠席の家庭への対応や意見を出しやすい環境作りなど、子どものために良い生活をつくることに重点を置き対応していく。
職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している。		○			懇談会を設け、少人数で子育ての話を出来る場を持っている。育児相談にも随時対応している。

9. 安全対策・健康管理

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育中の体調への気配りや怪我等に対して配慮されている。		○			毎朝家庭で検温してきてもらい健康観察カードに記入、朝口頭で子どもの様子を確認し、定期的に検温、体調を把握している。活動中は事故や怪我のないように声を掛け合っている。ヒヤリハットを記入していくようにし、全職員で共有している。
感染症の発生状況や注意事項などが知らされている。	○				感染症発生時には掲示、口頭やノートで子どもの様子を個々に連絡している。
子どもの成長を把握している。		○			年2回の健康診断、毎月の身体測定をして身長体重曲線を記入している。
不審者対策を行っている。			○		年2回の不審者対応訓練、担任は非常用笛を携帯している。防犯カメラの設置を検討中

10. 給食

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	

給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	○			見た目の工夫や旬の食材を取り入れたり、自家栽培の野菜を自分たちで調理して食べる活動をしている。おやつバイキングで好きな物、食べられる量を理解する機会を設けている。
食育を通して子どもたちが食に興味をもてるようにしている。	○			保育目標を基に野菜を栽培し自分たちでクッキングをして食べる機会を設けている。行事に関する献立を作成し食文化を伝えている。
子どものサインを見逃さないようにしている。		○		年齢に応じた形態を給食職員と検討しながら進めている。食べることを無理強いしない。
アレルギー除去食の対応。				入園時と年一回アレルギー児の把握を行う。現在給食で対応する該当園児なし。
衛生管理の徹底。	○			調理室内の衛生、掃除の徹底。マスク着用の徹底。コロナ対策として、園児の手洗い後の紙タオルの使用、消毒の徹底をした。

11.地域支援

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
地域との関係が適切に保たれている。		○			日々の挨拶。行事時の声かけ。子どもたちとの交流。
地域の子育て支援、交流。			○		育児相談に随時対応はしている。外部からの相談件数が少なかった。

12.職員育成

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
職員の質の向上に努めている。		○			去年に引き続き研修を外部に受けに行く機会が少なかった。オンライン研修会は個人が個別にも行えるようにし、園内で合同学習会をすることが出来た。保育を学んでいくこと、学んだことを共有することをコロナ対策をしながら進めていく努力をする。
社会人としてのふるまいを指導している。			○		日々の保育の中で特別に機会をもうけることができていない。人権に関する学習会は行い、子どもへの接し方を学んでいる。